

福山市立大学 地域と大学 第34回

●学生が『広報ふくやま』制作に関わります

はじめまして！4月より総務課連携担当となりました吉岡です。趣味は旅行で、現在は全国47都道府県旅行制覇を目指して計画を立てております。（今の段階では38都道府県旅行済みです！）

本年から、本学のフリーペーパー制作サークル「FOLKLORE」の学生が、『広報ふくやま』の制作に一部参加させていただくことになりました。早速ですが先日、広報ふくやま7月号制作にあたって、学生らがインタビューに参加してきましたので、レポートします。7月号の特集は「福

山駅前の再生について」です。

皆さんは福山駅前の再生の取組についてご存じでしょうか。先日、「福山駅前広場整備基本計画」が公表されました。福山駅前は今後大きく変わり、周辺エリアのさらなる活性化も期待されています。取材に参加した学生たちは駅前の再生の取組に強い関心を持ち、広報ふくやまの読者が知りたい情報は何かを考えながら取材に臨んでくれました。

学生からは駅前の利便性や交通網、整備費用について、フレッシュな視点でさまざまな質問が飛び出しました。対応してくださった市職員の方々からも熱い想いを伺うことができた貴重な機会となりました。

気になる詳細は、ぜひ広報ふくやまの7月号をご覧ください。



●OPENDAYが変わります！

こんにちは。地域連携コーディネーターの安藤です。久しぶりに1000ピースのジグソーパズルに挑戦しているのですが、ねことパズルは相性が悪いようです。せっかくながったピースが、肉球にくっついてどこかにいってしまいう。根気を試されています。

2025年4月から、毎週水曜日に小松安弘記念館の一部を開放するOPENDAYを開催してきました。謎解きや短歌づくりなど、気軽に楽しめる企画を実施することで、学生をはじめ地域のみなさまとの新しい出会いやつながりが生まれる場として親しまれてきたと思っています。

そしてこの7月、より多くの「やってみたい」が動き出す場所を目指して、福山市まちづくりサポートセンターさまのご協力のもとOPENDAYをリニューアルします。

新しいOPENDAYのコンセプトは、「空想シアター」です。「こんなイベントがあったらな」、「こんなものがあったら便利なの」……。

そんな身近な「だったらいいな」を持ち寄り、参加者みんなでアイデアを広げ、実際のアクションにつなげていくコミュニケーションです。

学生や社会人が立場を越えて、事業開発、資金調達、収益化の方法などを

一緒に学びながら、「思いつき」を「実現」へ近づけていきます。

特別な経験や知識は必要ありません。アイデアを持っている人も、誰かの挑戦を応援したい人も大歓迎です。学生だけでなく、高校生、他大学の学生、地域のみなさま、企業のみなさまと一緒に、新しいプロジェクトが生まれる場を育てていけたらと思っています。

開催日時は、毎週水曜日13時～15時から、毎週火曜日16時～19時へ変更になります。詳細は大学HPやSNSでお知らせしますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。



FUKUYAMA CITY UNIVERSITY

福山市立大学

教育学部、都市経営学部の2学部で構成される公立の4年制大学。自治体や地域社会、地元企業との連携を深め、持続可能なまちづくりに寄与する人材の育成をめざしている。

2027年4月、新たに「情報工学部」を開設予定。

【問い合わせ先】

福山市立大学 事務局総務課 連携担当

☎ 084-999-1112 ✉ soumu@fcu.ac.jp



研究シーズ集